

Reproduction center

KIBA PARK CLINIC

「一緒に挑む」の
約束。

不妊にはさまざまな要因があります。
その一つひとつの可能性を丹念に探り、
妊娠を妨げている要因を取り除くための
最適な方法を選択し、実践することが
不妊治療です。新しい命に出会うまでの道程は
時として長く厳しいものになります。
けれども、わたしたちは常に受診される方々
お一人おひとりに寄り添い、妊娠の確率を
1% でも上げる努力を続けることをお約束します。
受診される方々の 100% の満足をめざして。







Profile

1961 年 1 月	愛媛県松山市生まれ　男性
1986 年 3 月	愛媛大学医学部卒業
1986 年 5 月	東京警察病院産婦人科
1991 年 8 月	池下レディースチャイルドクリニック
1992 年 4 月	産婦人科専門医
1993 年10 月	高度医療研究所・中央クリニック非常勤医師
1994 年 7 月	東邦大学医学部第一泌尿器科学講座特別大学院研究生
1997 年 11 月	医学博士（男性不妊症と染色体異常）
1997 年 11 月	日本不妊学会賞受賞（本邦の先天性精管欠損症と嚢胞性線維症の原因である⊿F508 との関連についての研究）
1999 年 1 月	木場公園クリニック院長
2007 年 4 月	生殖医療専門医
2009 年12 月	臨床遺伝専門医
2010 年 3 月	経営学修士 (MBA)

魂のこもった医療を。

吉田 淳 医療法人社団 生新会 理事長
産婦人科専門医・生殖医療専門医・臨床遺伝専門医・MBA

「男性と女性を同時に治療。それが妊娠への最短距離」

木場公園クリニックは 1999 年、平成 11 年 1 月 11 日に開院した、リプロダクションの専門施設です。開院日を「1」が並ぶ日にこだわったのは、



不妊治療の分野で世界トップをめざすという目標があったから。そして、開院当時から一貫したコンセプトは、一人の医師が女性不妊症、男性不妊症の両方を同時に治療するということです。不妊症というと女性の病気というイメージがありますが、それは大きな誤りです。実態は、結婚しているカップルの 10％以上が不妊症の悩みを抱えていて、WHO の統計によるとそのうち女性のみに原因がある症例は 41％、男性のみが 24％、双方に原因があるケースが 24％とされています。

妊娠率は年齢と強く相関しています。女性も男性も年齢が上がれば上がるほど、妊娠率は低下します。だからこそ、回り道は禁物です。子どもを望んでもなかなか妊娠できないとき、まず女性が産婦人科を受診し、男性側に不安がある場合には泌尿器科を受診するという段階を踏むのではなく、不妊症とはカップルの病気だという認識に立つこと、女性と男性を同時に診断し、治療できる専門施設を選ぶことが、妊娠への近道であることを理解していただきたいと思います。

「カップルの病気だからこそ目的を 1 つにすることが大切」

不妊治療の最前線で多くのカップルの治療にあたっていると、治療の目的が共有されていないケースにしばしば遭遇します。例えば、女性は一日でも早く子どもが欲しいので、早期の体外受精や顕微授精を望んでいるのに、一方の男性は勃起障害をまず改善して欲しいと考えている。そのように治療の方針にずれがあると、結果的に良好な治療成績を得ることはできません。治療をする際に何を最優先するのか、治療の目的をカップルで徹底的に話し合うことが重要です。

魂のこもった医療を。

「ART の成績を 1%でも向上させることをめざして」

木場公園クリニックには一般不妊の患者さんも受診されますが、多くは他の医療機関で不妊治療を続けてきたけれど「卒業」にいたらなかったという重度の不妊症の方々です。



そうした方々に用いる治療法が ART(体外受精・顕微授精) ですが、その成績を左右するものとして、ART 実施前の検査、卵巣の予備能に基づく適切な卵巣刺激、採卵、培養室業務、胚の選別と胚移植、黄体補充という 6 つの柱があります。この柱のどの部分が欠けても良好な妊娠率を得ることができません。

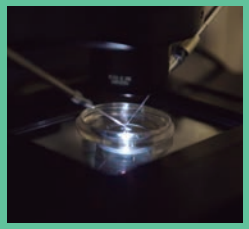
体外受精とは、1978 年にイギリスの産婦人科医であったステプトウ博士と研究者であるエドワード博士によって初めて成功した技術です。さらに 1992 年には、ベルギーで顕微授精が開発され、重度の乏精子症や精子無力症の症例、また精巣内にごくわずかしか精子がいない症例でも妊娠・分娩が可能となりました。体外受精と顕微授精から、すでに世界中で 500 万人以上の赤ちゃんが誕生しています。

「その人にとってのベストを追求」

ART の成績を 1%でも向上させるためには、6 つの柱それぞれの精度を高める努力が必須となります。例えば卵巣刺激に関しては、実施前の検査で詳細に卵巣の状況を調べ、その人に合った刺激法（低刺激法・高刺激法など）を選択します。女性の年齢から卵巣刺激法を選択するのではなく、個別のケースにベストな方法を幅広い選択肢の中から選択することが重要だと考えています。

「一胚入魂」

自然妊娠では、卵子や精子は体外に出ることはありません。しかし、体外受精や顕微授精では、体外に取り出した卵子と精子を合体させて、子宮に戻すため、細心の注意を払って医療を行う必要があります。



私たちは、ストレスを極力取り除いた安全な環境で胚を管理しています。そして、より多くの情報を得るために、分割の状況を「点」ではなく連続した「線」で観察できる最新鋭のタイムラプスシステムも導入して

［からだと気持ちを整える］





妊娠しやすい体づくりのために、子宮や卵巣をはじめ全身の血流を改善する低反応レベルレーザー治療や鍼灸治療を行っています。





鍼灸治療の待合室には、アジアンテイストのインテリアを採用。体と心の緊張をときほぐすことも不妊解消への有効なアプローチです。

います。胚移植は、「一胚入魂」の思いを込めて行います。世界最高水準の機器やシステムと、施術者の祈りにも似た思いが合体することが、妊娠率向上に結びつくと確信しています。

「良好な卵子と精子は健全な心身に宿る」

卵子と精子はどこで作られるのか。言うまでもなくそれはカップルそれぞれの体内です。良好な卵子と精子があって初めて良好な胚、つまり生命の源が作られます。木場公園クリニックでは施設内に鍼灸治療室や血流を改善する低反応レベルレーザー治療室、サプリメント外来を設置し、健やかな体づくりをサポートしています。

「妊娠はゴールではない」



妊娠しやすい体づくりから高度ARTまで、さまざまなアプローチで治療を行った結果、妊娠にたどり着いても、そこはゴールではありません。私たちが考えている本当のゴールは、カップルと赤ちゃんの３人が元気に自宅に帰ることです。出産前の不安を軽減するために木場公園クリニックでは施設内に出生前検査のブースを設け、独自に染色体異常などをチェックする検査を行っています。

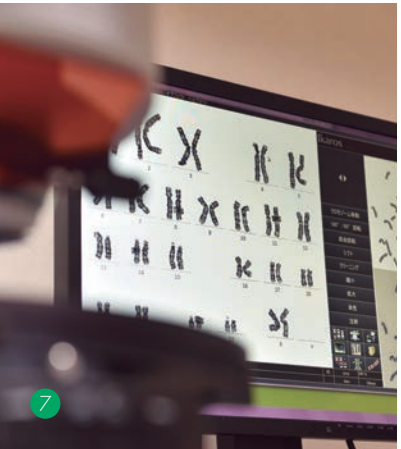


二人目不妊専用フロア

不妊治療は一説によれば、がん治療と同等のストレスがかかるとされています。木場公園クリニックでは二人目不妊の専門フロアを設けていますが、それもまた初めての妊娠に挑む患者さんと小さなお子さんを連れた患者さん双方のストレスを排除したいという思いによるものです。互いの意志と目的を確認して不妊治療に挑もうとするすべてのカップルのよりよい伴走者でありたいと願っています。

「ここに来てよかった」すべての患者さんからその言葉を聞くことが永遠の目標。

［出生前診断］





検査室では羊水を採取し、染色体異常の有無を確認する出生前診断だけでなく、不妊や流産の原因を突き止めるための検査も行っています。

［二人目不妊専用フロア］

お子さんとともに受診する患者さんのための専用フロアには、「キッズ イートイン」を設置。備え付けの絵本やおもちゃで遊んだり、食事をしたり、自由にご利用いただけます。





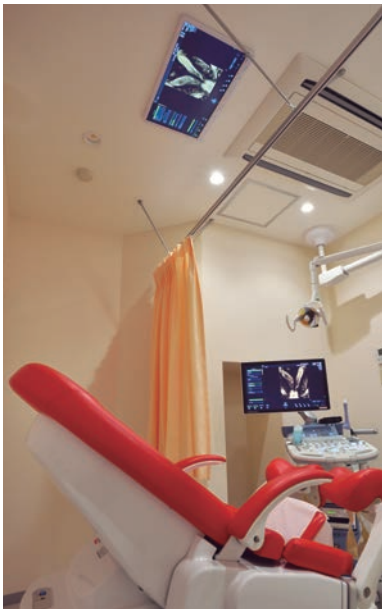
ART成功の条件。

ART の成績を向上させるために欠かせない
6 つの柱の中でも、とりわけ卵巣予備能を
正確に把握した上での最適な卵巣刺激、
採卵、培養室業務、そして胚の選別と胚移植は
重要なプロセスです。木場公園クリニックでは
最新の設備の下、医師、看護師、臨床検査技師、
エンブリオロジストのきめ細やかな連携で
高度不妊治療に挑んでいます。



卵巣予備能に基づく適切な

卵巣刺激





初診時の基本検査をはじめ、不妊治療のさまざまな過程で重要な役割を担う超音波検査。高画質の画像が得られる超音波検査装置「Voluson」の導入により、適切な卵巣刺激に必須の「卵巣予備能」の検査精度が向上しました。また、ホルモン検査の場面では、約 45 分でリアルタイムの検査結果を確認できる体制を整えています。

採 卵



採卵は、オペ室で行われます。超音波像を見ながら卵巣の中の卵子の入った袋に専用の針を刺して卵胞液を吸い出し、即座にエンブリオロジストと呼ばれる専門スタッフが卵胞液内の卵子を顕微鏡でチェックします。

■ 培養室業務 ■



卵子や精子を処理したり、体外受精や顕微授精を行うラボ（培養室）へはエアシャワーを通って入室します。ラボ内は、半導体製造レベルのクリーン度が保たれています。



顕微授精の精度向上を目的に、超高倍率で精子を観察できる「IMSI」システムも導入。6000倍の倍率で精子を細かくチェックし、卵子に注入する精子を選別することもできます。



液体窒素容器専用の保管庫。凍結した卵子や精子、胚は二重のセキュリティシステムの下で大切にお預かりしています。

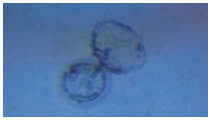
■ 胚の選別と胚移植 ■



体外受精、顕微授精の成功率を高めるには、受精卵の状態を正確に把握することが重要です。タイムラプスシステムでは、培養中の受精卵を自動的にカメラで撮影。「点」から「線」の観察が可能になりました。









モニターに映る胚を患者さんに示した後、超音波で胚を戻す位置を慎重に見極め、カテーテルで胚を子宮に移植します。

医療法人社団 生新会

木場公園クリニック
木場公園クリニック分院

診療案内

〒135-0042 東京都江東区木場 2-17-13 亀井ビル 2F･3F･5F･6F･7F

TEL:03-5245-4122　FAX:03-5245-4125

診療時間　平日／ 午前　8：30 ～ 12：00
　　午後 13：30 ～ 16：30
6 階のみ火曜日と木曜日の午後 13：30 ～ 18：00
※平日夜注射のみ 20：00 まで
土曜／ 午前　9：00 ～ 14：00
　　午後 14：30 ～ 16：00
日曜（注射のみ）／ 午前　9：00 ～ 13：00
　　午後 14：30 ～ 17：00

休 診 日　日曜・祝日（不定期）／年末年始

診察内容　① 女性不妊　② 男性不妊　③ 不育症
④ 性機能外来　⑤ 子宮鏡検査　⑥ 人工授精
⑦ 精子凍結　⑧ 体外受精・顕微授精　⑨ 胚凍結
⑩ 胚盤胞培養　⑪ 精巣内精子回収法

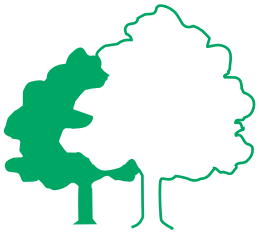
フロアガイド

7F	統合医療・出生前診断・リサーチラボ
6F	ART・男性不妊診察
5F	採卵・胚移植・培養室
3F	二人目不妊治療・日帰り手術 （子宮鏡下手術、卵管鏡下卵管形成術）
2F	一般不妊治療・精巣内精子回収法

公開セミナー

理事長本人による ART、男性不妊、二人目不妊をテーマにした無料のセミナーを随時開催しています。参加ご希望の方はホームページをご覧ください。





ロゴマークの支え合うように直立する 2 本の木は、
不妊治療に挑むカップルの姿を表現しています。

ご来院について

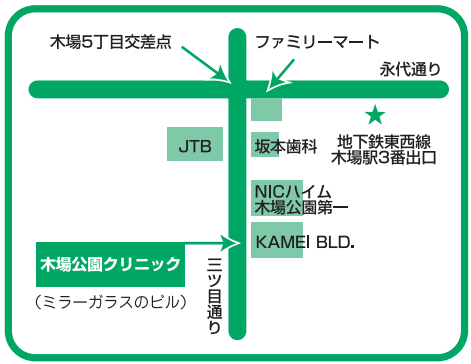
インターネット予約にてご予約の上、ご来院ください。

なお、治療内容に対するお電話でのご相談はお受けしておりません。

TEL: 03-5245-4122（よいふうふ）

FAX: 03-5245-4125

HP: http://kiba-park.jp



地下鉄 東西線 木場駅（3 番出口 徒歩 1 分）

医療法人社団 生新会
木場公園クリニック / 木場公園クリニック分院
〒 135-0042 東京都江東区木場 2-17-13 亀井ビル 2F・3F・5F・6F・7F
TEL:03-5245-4122 / FAX:03-5245-4125



